

平成24年4月17日発行

ゆきつばき通信

第 152 号

大町山岳博物館友の会



【小鳥の声を聞く会】

ふくろうプログラム（会員限定）

恒例の博物館行事、小鳥の声を聞く会に会員限定の前泊学習会を行います。山博前の長野県山岳総合センターに宿泊し、小鳥や鷹狩山の勉強会を行います。今回は、小鳥の声を聞く会の講師、腰原正己さん鳥羽悦男さんをお願いして小鳥教室を開催します。もちろん、13日は早起きして小鳥の声を聞く会（下記参照）です。お子さん、お孫さんをぜひ連れてきてください。

- 《集 合》 5月12日（土） 16時 山博 解散 5月13日（日） 12時
《宿 泊》 長野県山岳総合センター（建物の西側から出入りします）
《参 加 費》 大人3,000円、子ども2,000円（宿泊費 夕食・朝食・懇親会費を含む）
※指定管理者制移行に伴い減免がなくなりました。
《対 象》 会員（子どもさん大歓迎） 定員20名
《申し込み》 5月4日17時まで 友の会事務局へ（Tel/Fax0261-23-6334）
《持 ち 物》 雨具・帽子・歩きやすい靴・防寒具・手袋・筆記用具・洗面具・水筒・
おわん・はし・レジャーシート（敷物）・双眼鏡（持っている人）・図鑑（持っている人）（以上リュックに）
※食事（夕食・小鳥声を聞く会での朝食）は会で手配します。

スケジュール（案）

- 16時00分 山岳博物館集合・オリエンテーション
16時15分 小鳥教室（腰原正己さん 鳥羽悦男さん）
19時00分 夕食
20時00分 自主学習会・懇親会（鳥・鷹狩山・星など 話題、資料、パワーポイントデータをお持ちより下さい）



【博物館行事・ご案内】

小鳥の声を聞く会

今年で 32 回目となる恒例の探鳥会。三班に分かれて鷹狩までの道を歩きながら、講師の先生から野鳥を中心とした自然について学びます。

- 日 時 5月13日(日) 午前4時30分～正午 ※少雨決行
- 場 所 市立大町山岳博物館～鷹狩山山頂 ※集合・解散 山岳博物館駐車場
- 講 師 腰原正己さん 長澤修介さん 鳥羽悦男さん
- 対象・定員 山岳博物館と鷹狩山山頂を往復できる人 30人
- 持ち物 筆記用具、雨具、防寒具、観察道具(双眼鏡などある人)、朝食、おわん、はし、ビニールシートかビニール風呂敷、リュックサック
- 申し込み 5月11日(金)17時まで 山岳博物館友の会事務局へ
(Tel/Fax0261-23-6334)
- 参加費 無料 豚汁付き(友の会ボランティアによる)

【史跡・美術館・博物館めぐり】

軽井沢～植物園と野鳥の森

総会記念講演でもありましたように、館との協働で湿地植物の研究をしてきました。活動の中では各地の植物園を訪ねました。その延長でもありますが、今回は皆さんと軽井沢町植物園を訪ねたいと思います。軽井沢町植物園には軽井沢高原に自生する植物を中心に、約2万平方メートルの敷地に約145科、1600種類余りの樹木や草花が集められています。

午後は、軽井沢野鳥の森でNPO法人ピッキオに依頼してネイチャーツアーを実施します。エコツアーの最前線で軽井沢の自然に触れるとともに、自然解説の勉強もしたいと思います。

- 《期 日》 6月24日(日)
- 《集 合》 7:30 大町市役所 (途中 松川道の駅
7:45、スイス村 8:00 乗車可)
- 《解 散》 18:00 大町市役所
- 《募集人員》 30名
- 《参加費》 会員:大人4,500円(非会員:5,000円) 子供2,500円 (バス代、
入場料・ガイド料、保険代を含む 予定額で若干増減有)
- 《募集期間》 5月13日～6月10日(〆切)
- 《持ち物》 昼食(現地調達も可)、雨具(かさ)、防寒具、歩きやすい履物
- 《申し込み》 6月10日(金)17時まで 山岳博物館友の会事務局へ 定員締切
(Tel/Fax0261-23-6334)



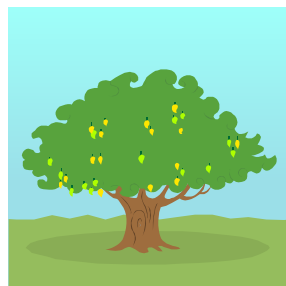
「ピッキオ (picchio=イタリア語でキツツキの意味 <http://picchio.co.jp/sp/>)」は、軽井沢を拠点に野生動植物の調査研究および保全活動を行っている組織です。軽井沢野鳥の森などでのネイチャーツアーや長野県の自然環境関係の講習会での講演や指導などにもご活躍で、私たちの自然観察や解説活動にも参考になると思います (そんな観点でご案内いただくようお願いしてあります)。

【山岳博物館・大町市関係行事より】

山岳図書資料館館内ガイドのお知らせ

大町山岳博物館では、平成 23 年に創立 60 周年を記念して山岳図書資料館の建設を進めてきました。同資料館の建設にあたっては、同じく平成 23 年に創立 50 周年を迎えた長野県山岳協会から同資料館建設費のための寄附金、並びに館内に収蔵する山岳図書資料の寄贈をいただき竣工を迎えることができました。これを記念して 4 月 20 日(金)行われます式典終了後より、山岳図書資料館の一般公開(閲覧および貸出業務)を開始します(午後 2 時 30 分以降)。開館に併せて一般の市民の皆さん、山岳に関心を持つ人など、多くの人に山岳図書資料館を知っていただき、活用していただきますように、次のとおり 2 日間にわたり、館内ガイド(説明会)を実施します。事前の申し込み不要、参加無料です。どなたでもご覧いただけます。大勢の皆さんのお越しをお待ちしています。

- 日時 4 月 21 日(土)・22 日(日)の両日、午前 10 時 30 分からと、午後 2 時からの合計 4 回の説明会を実施します。それぞれ 15 分程度です。
- 集合場所 山岳博物館受付に時間までにご集合ください。
- 内容 山岳図書資料館のご案内および利用方法などを説明します。
- 問い合わせ 山岳博物館 TEL・有線 22-0211



〇ふぞくえん春のイベント (いずれも参加費無料 当日申し込みで)

- ・動物観察ツアー 4 月 21, 22, 28 日~5 月 6 日
10:30~ / 14:30~ 各 30 分 (雨天も実施)
- ・スタンプラリー 4 月 28 日~5 月 6 日 9:00~16:30 (雨天中止)
- ・動物写生大会 4 月 28 日~5 月 6 日 9:00~16:30

報 告

【総会と総会記念講演会】

平成 24 年度 山岳博物館友の会総会 3 月 13 日

平成 24 年度の総会および記念講演会が行われました。参加者は総会 31 名、講演会是一般を含めて 32 名でした。

総会は議長に中畑清貴さんを選出し、議事が進められました。事業等も総会資料の通り承認されました。

質疑 昨年 29 万あった繰越金が今年は 16 万。このままいくと赤字になるのでは。

回答 事務費や事業支出を減らしている。会員を増やしていきたい。(川崎運営部長)

※後日の運営部会により事業の計画が次のように予定されました。

5 月 12 日 (土) 小鳥の声を聞く会・ふくろうプログラム

5 月 13 日 (日) 小鳥の声を聞く会 (山博行事)

5 月 18 日～21 日 【山博 60 周年記念】屋久島 「宮之浦」登山 (募集済み)

6 月 24 日 (日) 史跡・美術館・博物館めぐり 軽井沢植物園他

7 月 28 日～29 日 (土-日) キャンプ・観察会 山の子村

9 月 1-2 日 (土-日) 夏の自然観察会 餓鬼岳登山

10 月 6 日 (土) 塩の道を歩く 白馬村

11～12 月 伝統技術を学ぶ 輪かんじき作り (日程調整中)

2 月上旬 冬の自然観察会・黒沢尾根周辺 (次年度事業 日程調整中)

記念講演会

湿原の魅力ー過去・現在・未来

倉科和夫 先生

湿原で見られる植物の生活史～その営みとなぞにせまる！～

千葉悟志 学芸員

今回の記念講演会は、昨年企画展「くさばなの一生 湿地植物の生活史～その営みとなぞにせまる！」に関連した標記の二つの講演と、博物館との協働で観察を行い成果をまとめた 4 名の友の会員のコメントからなります。

倉科先生からは、ミズバショウの仲間の紹介や大北地域の湿原のお話をいただきました。ミズバショウはアメリカではスカンクキャベジといわれて人気がないこと、ザゼンソウは発熱して雪を溶かしているといったことをはじめ、さまざまな植物の不思議もお話しいただきました。また、湿原の種・生態系・遺伝子の多様性を守っていく必要性や自然観察ではミズバショウを見るだけでなくその咲いている環境を見るこ

との重要性をお話しいただきました。神城のガクモ原は既に過去のものとなってしまいましたが、数千年の自然が作り出した湿原は、人間までつながった共生の世界であるということです。

千葉学芸員からは、企画展にいたるまでの経緯や友の会員との観察活動について、また、ミズバショウ、リュウキンカ、カキツバタなどの生活史一どのような生活をしているか、成長の特徴、花やおしべ、めしべの様子、花の寿命、受粉の仕組みや結実、さらに種の広がり方などをお話しいただきました。この企画展は山博 60 周年に際して、地元の自然に、その中で生活圏にありながらあまり知られていない湿原植物に目を向けようということで企画され、さらに地域住民といっしょに活動していきたいということで始められたものです。3年間をかけて 10 種類の植物を観察し、成果としました。講演に合わせて山田恭子さんのボタニカルアートの原画や企画展のパネルも展示されました。

最後に、友の会会員から観察に参加した細川武子さん、板橋和子さん、宮澤陽美さん、有川美保子さんからそれぞれ感想などをお話しいただきました。

(編集部 記)

※企画展解説書(第2版)は山岳博物館で 1000 円で販売しています。

友の会 作品展

友の会活動での制作物、写真、書などをもち寄り、2月18日(日)より4月7日(日)まで売店・喫茶こまくさで実施されました。友の会の活動を広く知っていただく機会となりました。



お知らせ ☆ ご案内

平成 24 年度会費納入のお願い

新年度が始まりました。事務処理が長引かないよう、遅くとも 5 月末までにお納めくださいますようお願いいたします。

郵便局の振込取扱票で下記の口座番号にお振込みください(手数料 120 円がかかります)。喫茶売店「こまくさ」でも受け付けております。「こまくさ」閉店時は博物館窓口までどうぞ!

友の会の運営は皆様の会費のみで成り立っておりますので、どうぞよろしくお願

いたします。（会計年度の変更により、2月1日より新年度となっています）

郵便振替口座番号 00550-2-24194 加入者名 山博友の会
個人会員 3500円 ファミリー会員 4000円

喫茶売店「こまくさ」より ご案内

4月14日より営業を始めています。今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

仙波 美代子

ボランティアサークルより

今年も園内整備、飼育舎修繕、サクラソウ栽培展示、図書資料整理、館内案内等に積極的に活動していきます。

ボランティアに関心、興味のある方を随時募集しています。初めて参加される方は事前に博物館まで申し出てください。ボランティア保険に加入手続きを取ってから参加していただくようになっています。

◎当面の予定

4月22日午後 付属園飼育舎金網ペンキ塗装

4月28日～5月6日 館内説明・スタンプラリー、写生大会受付など

5月6日 サクラソウ移動（博物館→信濃大町駅）

5月27日 サクラソウ移動（信濃大町駅→博物館）、2階テラスの植物管理

ゆきつばき通信編集室より

会計も事業も24年度が本格的にスタートしました。今回は小鳥声を聞く会・同ふくろうプログラム（友の会前泊行事）と史跡・美術館・博物館めぐりシリーズのご案内です。総会報告の後に年間事業予定も入っています。カレンダーにマークをしておいてください。

春の遅い（？）山博周辺はまだ日陰に雪が残っています。大町公園はもとより里の桜も今しばらくといったところです。でも小鳥の声はにぎやかになってきました。子供の声も間もなくにぎやかになるでしょう。（丸山卓哉）

ゆきつばき通信 第152号

発行／大町山岳博物館友の会 平成24年4月17日

〒398-0002 長野県大町市大町 8056-1

大町山岳博物館内 山博友の会事務局 Tel/Fax 0261-23-6334

会費振替口座番号 00550-2-24194 加入者名 山博友の会